

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	コラゾン横浜コットンハーバー		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 16日	~	2025年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	52 (回答者数)	19
○従業者評価実施期間	2025年 10月 16日	~	2025年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	4
○訪問先施設評価実施期間	年 月 日	~	年 月 日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	(回答数)	
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様、保護者様の満足度	様々なことへチャレンジしていただけるよう、毎回違うメニューを取り入れることを意識している。その反面、ゲーム形式のものでは、月の終わりには今まで練習してきた成果が見せれるよう、総まとめも行っている。	引き続き、お子様はもちろんのこと、保護者様も見て楽しめ成長が感じられると思えるメニューの考案、開発を行っていく。
2	スマールグループのため、お子様一人ひとりへアプローチすることができる。	少人数制のレッスンのため、お子様のご様子に合わせてスタッフがついて話を聞く体制が取ることができる。お子様同士でのコミュニケーションをとる際もスタッフが積極的に仲介することで、言葉での伝え方や聞く姿勢など相手を意識したコミュニケーションがとれるようサポートを行っている。	お友達との直接的なコミュニケーション、SSTなどをいま以上に取り入れ、小集団だからこそできる支援やサポートを増やしていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スタッフの専門性の質	経験なども踏まえて、専門性が一律ではないと感じことがある。	普段のミーティングやケース会議などを通して、どのような支援方法があるのか、お子様にとって何が適切なのかを常に話し合い、実行。その後のフィードバックを行い、常に模索、実践を行っていく。
2	外部との連携	他事業所との連携が少ないため、複数事業所通われている方の情報に乏しいと感じることがある。	事業所間で連携が取れるよう、基幹支援センター・療育センター、相談支援事業所との関係性を築いていく、地域の連絡会、担当者会議などにも参加し、地域連携を深めていく。
3			